

当社社員（駅係員）の新型コロナウイルス感染について

1. 概況

京浜急行電鉄株式会社（本社：横浜市西区，社長：原田 一之，以下 京急電鉄）では，京急鶴見駅（横浜市鶴見区）の駅係員が新型コロナウイルスに感染したことが確認されました。

当該社員は休暇だった8月19日（水）に発熱および体調不良を感じ休業，その後帰国者・接触者相談センターから連絡があり，プライベート上で接した者が陽性判定を受けたためPCR検査の受診をすすめられ，21日（金）にPCR検査を受けたところ，22日（土）に陽性と判明したものです。

2. 感染した社員の概要と業務内容

当該社員：50代 男性（神奈川県在住）

業務内容：京急鶴見駅 駅事務室内において事務職および旅客案内（勤務中はマスクを常に着用のほか，有人改札窓口には飛沫対策シールドを設置しておりました。また，接客業務は短時間であったため，お客さまとの接触は限定的と考えております。）

現在の体調：医療機関の指導に則り，療養を継続しております。

渡航歴：なし

感染経路：陽性と認定された者と接していたため

濃厚接触者：管轄保健所よりお客さま，および職場には濃厚接触者がいないことをご判断いただいております。

3. 対策

- ・京急鶴見駅におきましては，有人改札窓口をはじめとする駅事務室内や券売機などの機器類，お客さまが触れる手すり，エスカレーター，エレベータのボタンなどの消毒を完了いたしました。

4. その他

- ・本件に伴う鉄道運行への影響などはございません。
- ・本件については，今後も管轄保健所の指導に基づき，必要な対応を行ってまいります。

これまで，マスク着用や手洗い・うがいなどの感染症対策の徹底や消毒液の設置などを実施してきましたが，今回の事象を受けて，さらなる徹底を図ってまいります。

お客さまにはご心配をおかけいたしますが，京急電鉄では，引き続きお客さまや従業員の安全を最優先に，感染拡大防止に努め，政府の方針や行動計画に基づき対応してまいりますので，ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

以上